

令和6年度

無停電電源装置更新工事（〇〇配水場）の実施設計

基本条件確認書

〇〇設計株式会社

目 次

1. 設計目的・趣旨
2. 現地踏査の結果
3. 設計基本条件の整理
4. 機器の選定
5. 適用基準等
6. その他

1. 設計の目的・趣旨

(1) 目的・趣旨

本設計の目的は〇〇である。

(2) 関連工事・同一敷地内の工事について

〇〇工事が同一配水場内で令和〇年度に計画されている。

(3) 特記仕様書に示す条件

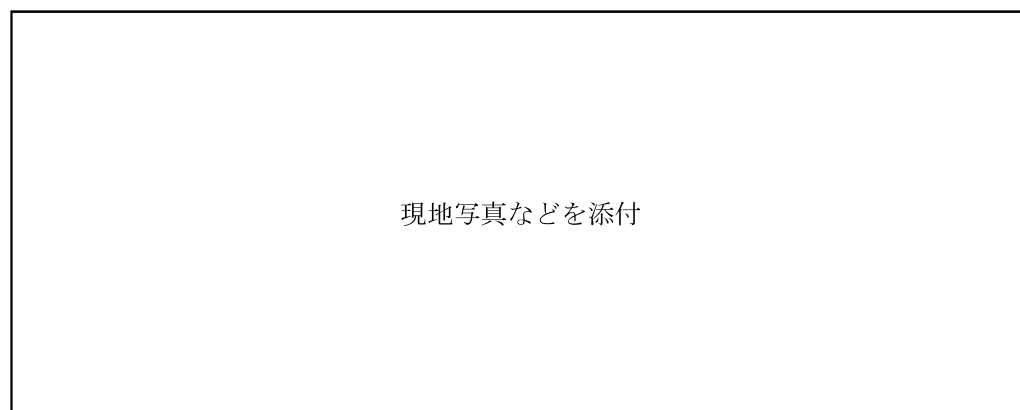
関連する◇◇工事と配管の取り合いがある。

2. 現地踏査の結果

(1) 浄配水場の現地の状況



(2) 既設の設備の状況



(3) 機器の搬入・搬出ルート

ルート図を添付

(4) 機器搬入時のクレーンの設置場所

平面図（クレーン設置場所明示）を添付

(5) クレーン使用時に障害となる電線・植物等

現地写真などを添付

(6) 機器の仮置きをする場合の仮置場所

現地写真・平面図などを添付

(7) 電源の取り出し場所

現地写真・単線結線図などを添付

(8) ケーブルルート・既設電線管

現地写真・平面図などを添付

(9) 電線管の状況

現地写真・平面図などを添付

(10) 無停電電源装置から供給している負荷

現地写真・平面図などを添付

3. 設計基本条件の整理

(1) 更新対象範囲

更新対象範囲は下図の範囲とする。



(2) 高額な材料・特殊工法等

本工事においては使用する材料は、一般的に使用するケーブルや電線管であり、特殊なものは使用しない。

また、施工に際して特殊な工法を使用することもない。

(3) 既存設備の改造の有無

本工事の対象となる無停電電源装置は、故障警報が機場監視制御盤及びテレメータを通じて東部配水場の中央監視制御装置へ送られている。これらは既存の回路をしようするので、改造の必要はない。

(4) 他の盤との一括の更新についての検討

本工事においては無停電電源装置が1セットのみであり、他に設置されていないことから、検討の対象外とする。

(5) 蓄電池の温度条件

水道設備工事一般仕様書において鉛蓄電池を使用することとなっており、その許容温度範囲は 00°C ～ 00°C である。既存の蓄電池盤が設置されているポンプ室にはエアコンが設置されていないため、この温度範囲を超えることが想定されることから、電気室に移設する。

4. 機器の選定

(1) 蓄電池の容量を計算

無停電電源装置から供給を受けている負荷の容量を計算して、必要になる蓄電池の個数を計算する。

(2) 機器仕様

機器の仕様は下記のとおりとし、水道設備工事一般仕様書に合致したものとする。

機器の仕様を記載する。

(3) 機器の見積徴取先

機器の見積徴取先は下記の5社とする。

- ・〇〇株式会社
- ・□□株式会社
- ・××株式会社
- ・△△株式会社
- ・◇◇株式会社

5. 適用基準等

適用基準は下記の通りとする。

- ・ ○○基準
- ・ ××規格

6. その他

図書調査を実施したところ、○○設置工事の完成図書がなく、本工事で掘削する箇所に埋設されている排水管の正確な位置・管種等が把握できない。その為、本設計において試掘をして確認するか、工事において試掘を計上する必要がある。